

NAKANISHI
Natsuyuki

New
Paintings

2008年4月8日[火] → 5月25日[日]

The Shoto Museum of Art

渋谷区立松濤美術館

絵画の鎖・光の森

新中西夏之
作展

〒150-0046 渋谷区松濤 2-14-14
電話 03-3465-9421 ファックス 03-3460-6366
渋谷駅 下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅 下車徒歩5分
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp>

開館時間

9時 → 17時 [入館は16時30分まで]

休館日

4月14日[月]、21日[月]、28日[月]、30日[水]
5月7日[水]、12日[月]、19日[月]

入館料

一般 300 (240) 円
小中学生 100 (80) 円

()内は 10名以上の団体料金
60才以上の方および障害者の方は無料
毎週土曜日は小中学生無料

講演会

「絵画の場所——中西夏之の軌跡」

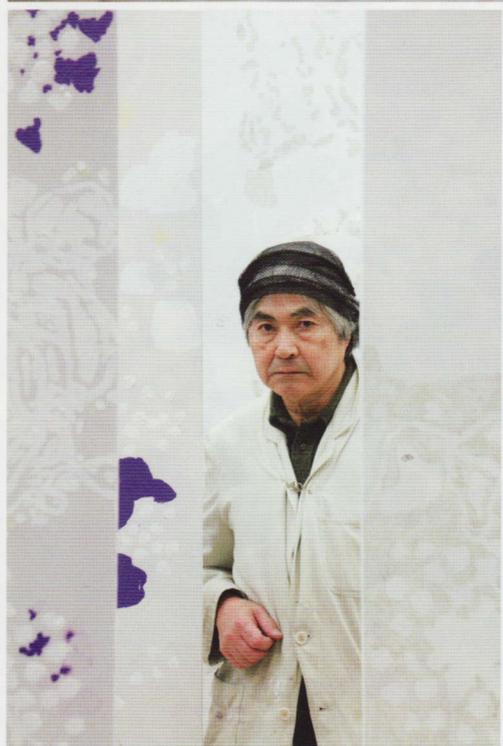
高階秀爾 (美術評論家・大原美術館館長)

4月19日[土] 14時から

新中西夏之 作展



絵画の鎖・光の森



画家・中西夏之(1935年東京生まれ、写真中段)は、絵画を特別な存在物としてとらえ、独自の絵画思想と制作を積み上げてきました。その成果は比類のないものであり、絵画に興味をもつすべての人にとって重要な意味を持つことでしょう。

1950年代に絵画を発表して以来、中西は彫刻を通過し、グループ・ハイレッドセンターの活動ではオブジェ、ハプニングを発表します。舞踏とのコラボレーションを経験するなど、絵画の場をめぐる思想を深化させたのち、1980年代から全面的に絵画制作を展開させてきました。半世紀にわたる中西の作品群は、広く高く評価されていますが、意義の深奥はまだ解き明かされるのを待って、今も見る者を挑発し続けているのではないのでしょうか。

本展は、4年近く画家が取り組んできた未発表絵画を一堂に展覧し、その豊穡で新鮮な魅力を紹介するものです。星座のようにつらなる連作絵画の大作が展覧会の中心になります。関連するデザインと作家の文章をあわせて展示し、絵画の可能性の臨界へと向かう中西夏之の世界をご覧ください。機会といたします。

講演会

4月19日[土] 午後2時より
「絵画の場所——中西夏之の軌跡」
高階秀爾氏(美術評論家・大原美術館館長)

美術映画会

4月27日[日]、5月17日[土] いずれも午後2時より
「二箇所」
(中西夏之 公開制作 於東京藝術大学陳列館 2001年)
(編集・音響:椎木静寧 制作:東京藝術大学油画研究室 DV84分)

ギャラリートーク

4月12日[土]、4月23日[水]、5月16日[金]
いずれも午後2時より 担当学芸員

美術相談

4月26日[土] 午後2時 → 4時 講師・宮田翁輔
5月10日[土] 午後2時 → 4時 講師・廣畑正剛

次回展予告

大正の鬼才 河野通勢
6月3日→7月21日



渋谷区立松濤美術館
The Shoto Museum of Art

〒150-0046 渋谷区松濤 2-14-14 ☎ 03-3465-9421
渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分